

**製品名: ミオシン IXb ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14343**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	250kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYO9B
別名	MYO9B; MYR5; Unconventional myosin-IXb; Unconventional myosin-9b
遺伝子 ID	4650.0
SwissProt ID	Q13459
免疫原	抗血清はヒト MYO9B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 304-353

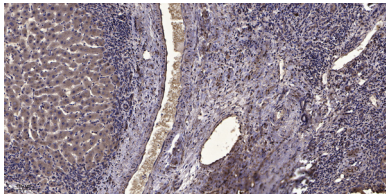
**背景**

この遺伝子は、アクチンをベースとする分子モーター重鎖タンパク質のミオシンファミリーに属するタンパク質をコードする。このタンパク質は非定型ミオシンであり、従来の非筋型ミオシン 9 (MYH9) と混同してはならない。このタンパク質は、軽鎖として機能

するカルモジュリンに結合するネックドメインに4つのIQモチーフを有する。このタンパク質複合体は単頭構造を有し、アクチンフィラメント上をマイナス端に向かって前進運動する。また、rho-GTPase活性も有する。この遺伝子の多型は、セリアック病および潰瘍性大腸炎の感受性と関連している。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011年12月]、疾患：MYO9Bの遺伝的変異は、セリアック病4 (CELIAC4) の感受性の原因である [MIM:609753]。セリアック病 [MIM:212750] は、環境因子と遺伝因子の両方の影響を受ける小腸の多因子疾患です。小麦グルテン、または関連するライ麦や大麦のタンパク質を摂取した後に小腸粘膜の炎症性損傷に起因する吸収不良が特徴です。典型的なセリアック病では、小児において吸収不良と発育不全が特徴的です。機能：ミオシンは、ATPase活性を持つアクチンベースのモーター分子です。非従来型ミオシンは細胞内運動に関与しています。アクチン細胞骨格のリモデリングに関与している可能性があります。ATPの存在下でも非存在下でもアクチンに高い親和性で結合し、その機械化学的活性はカルシウムイオンによって阻害されます。また、Rho上のGTPase活性化タンパク質としても機能します。オンライン情報：MYO9B エントリ,配列注意：キメラ。1917番目以降のC末端配列はおそらくキメラです。類似性：ミオシン ヘッド様ドメインを1つ含みます。類似性：ホルボール エステル/DAG 型ジシク フィンガーを1つ含みます。類似性：Ras 関連ドメインを1つ含みます。類似性：Rho-GAP ドメインを1つ含みます。類似性：IQ ドメインを4つ含みます。細胞内局在：未分化細胞では細胞周辺部のF-アクチンと共局在しますが、分化細胞では細胞質内に局在し、核周囲領域に最も多く存在します。組織特異性：末梢白血球で主に発現し、胸腺、脾臓、精巣、前立腺、卵巣、脳、小腸、肺にも低レベルで発現します。、

## 研究分野

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した（4℃で一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0を使用した。3、二次抗体を1:200に希釈した（室温、45分）。